



発行／向上高等学校同窓会
 こゆるぎ会
 〒259-1185
 神奈川県伊勢原市見附島411番地
 向上高等学校
 こゆるぎ会事務局
 TEL 0463-96-0411
 印刷／(株)横浜綜合写真
 TEL 045-472-2510

新役員紹介



写真左から

井上由美子さん(昭和59年度卒業)

播磨幸雄さん(元向上学園事務長)

佐藤葉子さん(平成8年度卒業)

表紙画 奥津國道氏 題字 松澤輝次先生

【2025年度役員・監事】

会長	高倉孝元
副会長	原利昭
書記	成田将哉
副書記	佐藤健哉
計	後藤まゆみ
営	仁科規一
運	大田美佐子
運	八卷達也
運	井上由美子
運	横山栄子
運	村田明生
運	須賀寛子
運	渡辺裕哉
運	中井圭祐
運	西山陽造
運	播磨幸雄
運	工藤正行
運	堀田加代子
事務局長	
相談役	
監事	

こゆるぎ祭で 歴代アルバムを展示

こゆるぎ会では9月27日(土)と28日(日)のこゆるぎ祭期間中、校内ブースにて歴代のアルバムを展示いたします。

毎年、多くの卒業生が訪れ、自分たちや先生たちの若かりし姿を見て、思い出話を華を咲かせています。お越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。

ご注意ください！振り込め詐欺

最近、本校の関係者を名乗った「振り込め詐欺」が多く起きています。

「進路を確認したい」や「卒業者の名簿を作成したい」、「関東大会の寄付を募ります」、など手口は様々です。本校では、一切そのような行為は行っておりませんので、ご注意ください

うお願いします。そのほか、卒業生の個人情報聞き出すとする不審な電話がかかってくることもあります。

防止策として警視庁、神奈川県警から確認の電話がご自宅に入ることありますので、その節はご協力ください。

事務局からのお願い

会員の皆様の住所等に変更があったときは、同窓会ホームページの「名簿データベース」の変更を各人をお願いします。並行して事務局にも連絡を頂ければ幸いです。(題字下に連絡先)

こゆるぎ会に寄せる思い

友との繋がりを継続できる活動を

会長 高倉孝元



でしょうか。

今年度から自修館中等教育学校の校長をしていた卒業生の小河亨先生が、向上学校の校長の職に就任されました。歴代校長の中でも卒業生がその大役を任されることは、初めてのこと。同じ卒業生として、誇らしい気持ちでいっぱいです。

先日、小河先生にお会いした際に、昨年野球部が夏の大会でベスト4に進んだ話になり、「自修館の生徒からも『同じ学園なので一緒に応援したい』という声があり、嬉しい気持ちでいっぱいでした」と話す気さくで明るい母校愛が強い先生です。

私は昭和42年に向上高校に入学し、それと同時に「こゆるぎ寮」に入寮しました。寮は校舎と同じ敷地内にあり、野球部の先輩方も一緒に生活をしていました。当時校長だった宮崎道世先生が向上高校を早く世間に知ってもらえるよう、部活動に特に力を入れている印象があり、大会で勝ち進む度に寮の食事も豪華になり、一緒に美味しくいただいていた思い出があります。

6月14日に行われた代表者会では、平井晃先生のご逝去により、しばらく空席だった相談役の後任を無事に承認いただくとともに、「向上高校22歳の集い」という新しいイベントへの協力についてもご理解いただきました。このイベントは、多くの人が就職するタイミングである22歳という人生の節目に、高校時代を過ごした友人たちと再会して旧交を温めてもらい、今後の生活でも同級生との繋がりを持ち続けられるような催しになればと思っております。

卒業生の存在が学園の大きな力に

理事長 山田貴久



同校の校長を務めました。

近年、学校教育に求められるものは高度になり、様々な社会からの要請に応えることは並大抵のことではないと、日々感じております。そのような状況の中で、時代に合わせた教育活動を実施するためには、学園が運営する二つの学校が「探究的な学び」や「国際教育」、それらを実践するための方法としてのICTの活用などに関して、協働して取り組むことが重要だと考えております。そのための体制づくりをする中で、小河先生が向上高校の校長となることは、本学園が二つの中等教育を行う学校を持つことの強みを、最大限に活かすことに繋がると考えております。

また、自修学校から始まって15年、時代とともに取り組む課題や教育方法が変わっても、本学園の行う教育が「自学・自修・実践」のできる人材の育成であることは変わりません。そのように断言することができるのは、本学園の教育を受ける中で、様々な実績を残してくださった皆様の存在があるからです。そのことが、私たちの自信に繋がっております。そのような意味でも、今回、小河先生に卒業生として初めて、出身校の校長職に就いていただいたことには、大きな意義があると考えています。

繰り返しになりますが、卒業生の皆様が、こゆるぎ会の活動などを通じて、様々な場面で学校の教育活動にかかわってくださることは、学園の大きな力となっております。改めて感謝の気持ちをお伝えするとともに、これからも向上学園の発展にご協力をいただければ幸いです。

歴史と伝統のバトンを次世代へ

校長 小河 亨



ご息女に在籍いただいていることです。日々の学校生活の中で、生徒や保護者の方々と接するたびに、「私も本校の卒業生です」「私の父が、母が、向上高校で学びました」といった話を耳にする機会が非常に多くあります。この事実は、長年にわたって向上高校が卒業生の皆様と強く結びつきながら歩んできた証であると感じております。

本校は創立以来、「自学・自修・実践」の教育方針のもと、多くの人材を世に送り出してきました。卒業生の皆様が築かれてきた歴史と伝統、そしてその上にある現在の学校の姿は、まさに皆様の支えとご協力の賜物です。今、私はその大切なバトンを受け取り、次代を担う生徒たちがさらに大きく成長できるように力を尽くしてまいります。

7月13日に大和スタジアムで行われた野球部の初戦を私も現地で観戦しました。特に印象的だったのは、こゆるぎ会を中心とした多くの卒業生の皆様が集まり、スタンドから熱いご声援を送ってくださったことです。

皆様、母校である向上高校に対して変わらぬ愛情とご支援を寄せてくださっていることは、何よりの励みであり、学校にとっての大きな財産です。こうしたご縁をこれからも大切に、在校生たちにも「向上高校で学んで良かった」「卒業してもまた母校に戻ってきたい」と思ってもらえる学校づくりに邁進してまいります。

今後とも、皆様にはこれまで以上のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして、機会がありましたら、ぜひ母校に足をお運びください。

第4回ホームカミングデー開催



懇親会会場で参加者たちと撮影

2024年10月19日(土)に第4回ホームカミングデーが開催された。前回同様、立食パーティーを外部の会場で行い、参加者とイベントの認知を拡大するために今回から2年ぶりに参加者を招待することとなった。

今回招待されたのは、昭和54年度から昭和57年度の卒業生の中から、連絡の届ってきた23名。それに加え当時のことを知る宮崎道忠先生・東野眞先生・松山隆先生・高橋邦夫先生・夏目修一先生・野田祐次先生・大木誠先生の7名が招待された。

当初は前日からの雨の持ち越しも心配されたが、何とか天候も持ち、11時過ぎにアミックスに集合した参加者は校内見学ツアーに出発。



スタディセンターの説明を受ける参加者たち

その後、参加者は用意されたバスで向上令和グラウンドを見学したのち、懇親会会場のある本厚木のレンブラントホテルへ移動。

最初にこゆるぎ会でも設立の協力をしたスタディセンターに向かい、在校生たちがどのように利用しているかや進路の状況などの説明を受けた。次に図書館、Aグラウンドの順番で中井圭祐先生の対応の中、校内が案内された。校内見学ツアーを終えた参加者は、アミックス横のスペースで先生方を含めて集合写真撮影をした。



懇親会で成田さんが指揮を執り、校歌斉唱

その後、参加者は用意されたバスのスクリーンに中井圭祐先生が招待年度の卒業アルバム写真をまとめた映像が映し出され、会場から笑い声や歓声が多く上がった。続いて、先生方からの挨拶や参加者へ「怖かった先生」や

「部活や行事の思い出」などのインタビューを行った。校歌斉唱では、野球部のユニフォームを着飾った成田将さんが全校応援さながらの指揮をとり、その日一番の盛り上がりを見せた。

その後、原利昭さんが閉会の言葉を述べ、会場で記念写真を撮って第4回ホームカミングデーは閉会となった。参加者の中には、先生や旧友と一緒に2次会に向かう人もおり、時間が許す限り思い出話に華を咲かせていたようだ。

ホームカミングデーの次回告知について

開催日 10月～11月頃を予定

対象卒業年度 昭和56～60年度

来賓の先生 調整中

※昨年と同様、校内見学などを行い、2次会会場に移動し、立食パーティーを行う予定です。

こゆるぎ会 2024年度決算報告

自 2024年6月1日
至 2025年5月31日
(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	64,922,916	事業費	5,623,100
同総会費	7,635,000	慶弔費	178,050
利息収入	28,317	会議費	297,989
その他収入	11,000	交通費(外部)	4,000
		通信費	20,400
		雑費	32,255
		消耗品費	39,930
		HP・名簿管理費	368,054
		助成金	170,000
		広告宣伝費	95,700
		次年度繰越金	65,767,755
合計	72,597,233	合計	72,597,233

こゆるぎ会 2025年度予算

自 2025年6月1日
至 2026年5月31日
(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	65,767,755	事業費	5,983,000
同窓会費	7,695,000	慶弔費	150,000
利息収入	30,000	会議費	370,000
		交通費(外部)	6,000
		通信費	21,000
		雑費	30,000
		消耗品費	10,000
		HP・名簿管理費	370,000
		助成金	640,000
		広告宣伝費	30,000
		次年度繰越金	65,882,755
合計	73,492,755	合計	73,492,755

令和6年度活動報告

- 4月 自修館中等教育学校入学式献花
向上高等学校入学式献花
向上高等学校新入生ワールド
ワーク支援(瑞雲寺訪問の案内)
- 6月 令和6年度代表者会実施
- 7月 野球応援(会場にて団扇配り)
- 8月 こゆるぎ会会報17号発行
- 9月 こゆるぎ祭展示参加
- 10月 第4回ホームカミングデー実施
- 12月 「チャリティー・コンサート」献花
- 3月 自修館中等教育学校卒業式献花
向上高等学校卒業献花
- ※役員会は4月、5月、6月、9月、11月、2月に実施
- 4月 自修館中等教育学校入学式献花
向上高等学校入学式献花
向上高等学校新入生ワールド
ワーク支援(瑞雲寺訪問の案内)
- 6月 令和7年度代表者会
- 7月 野球応援(会場にて団扇配り)
- 8月 こゆるぎ会会報18号発行予定
- 9月 こゆるぎ祭展示参加予定
- 10月 ホームカミングデー実施予定
- 12月 「チャリティー・コンサート」献花
- 1月 「向上高校22歳の集い」協力予定
- 3月 自修館中等教育学校卒業式献花
向上高等学校卒業式献花
- ※役員会は4月、5月、6月、9月、11月、12月、2月に実施の予定

令和7年度活動計画

- 4月 自修館中等教育学校入学式献花
向上高等学校入学式献花
向上高等学校新入生ワールド
ワーク支援(瑞雲寺訪問の案内)
- 6月 令和7年度代表者会
- 7月 野球応援(会場にて団扇配り)
- 8月 こゆるぎ会会報18号発行予定
- 9月 こゆるぎ祭展示参加予定
- 10月 ホームカミングデー実施予定
- 12月 「チャリティー・コンサート」献花
- 1月 「向上高校22歳の集い」協力予定
- 3月 自修館中等教育学校卒業式献花
向上高等学校卒業式献花
- ※役員会は4月、5月、6月、9月、11月、12月、2月に実施の予定

令和7年度代表者会 新相談役が決定

2025年度こゆるぎ会代表者会が、6月14日の13時30分から向上高校の会議室で行われた。

会は、始めに高倉会長からの挨拶、続いて小河亨校長先生より学校の近況などが話された。議事は昭和45年度卒業の内藤文夫さんが議長に選出され議事進行をおこなった。

議題は、役員会から提出された昨年度の活動報告・決算報告、今年度の事業計画案・予算案等いずれも承認された。

また、昨年から空席だった相談役の後任として、副会長の西山陽造先生と向上学園で事務長を務めていた播磨幸雄さんを推薦し、この議案についても代表者会で承認された。



真剣に話を聞く代表者たち

昭和60年度普通科・商業科同窓会



2024年1月25日に昭和60年度卒普通科の同窓会が本厚木で開催された。野田裕二先生、中川和久先生、吉田尚子先生を含む13名が参加。2年ごとに新年会として開催をしていたが、今回は中川先生が退職を迎えるということから同窓会へ変更。先生たちと何十年ぶりかの再開も話は尽きず昔話に華を咲かせた。会の終盤には、中川先生へ退職祝いとして日本酒が参加者から贈られた。



2024年11月23日に昭和60年度卒商業科の同窓会が南林間で開催された。佐久間真一先生、野田祐次先生を含む26名が参加した。4年ごとに開催されていた商業科の同窓会だったが、コロナ禍もあって今回は8年ぶりの開催。何年経っても不思議と学生時代の思い出が蘇り、話が尽きることなく非常に充実した会だった。また、会に飛び入り参加していたこゆるぎ会の成田副会長の指揮の元、校歌や野球の応援歌を熱唱し、盛大なエールで会を閉めた。



訃報 永尾和幸先生

令和7年3月14日に永尾和幸先生がご逝去されました。享年は74歳でした。向上高校では、社会科の先生として37年間勤務し、囲碁部や無線部などの顧問でした。

河井雅彦先生



契約満了による退職

小川 覚先生



上野盛男先生



飯田聖彦先生



再雇用で引き続き在職

安藤玲子先生



山内実咲先生



松澤輝次先生



契約満了による退職

中川和久先生



契約満了による退職

直理賀一先生



高橋邦夫先生



契約満了による退職

退職された先生方

入学式 442名が高校生活をスタート



同窓会で贈られた献花(中央)

4月8日(火)、令和7年度入学式が行われ、442名の新入生が新たに向上生の一員に加わった。式は各担任の先生からの呼名から始ま

り、壇上から新入生が入場。壇上から入場する新入生の表情は、緊張とこれからの高校生活に対する期待が入り混じっているように見えた。全員が着席し終えると国歌斉唱の後、小河亨校長先生から祝福の挨拶が行われた。その後、来賓を代表してみどり園施設長の菅原敦さんと明和会会長による祝辞が述べられた。

式の最後には校歌斉唱が行われ、新入生は体育館後方から退場した。新入生と保護者は各教室に戻り、「最初のHR」が開かれたほか、Bグラウンドや洋風中庭で写真撮影が行われた。

頑張る向上生 行事や式典 充実の内容で

卒業式 509名の巣立ち

3月7日(金)に、令和5年度卒業証書授与式が行われ、509名の卒業生が本校を巣立った。

前日の悪天候が心配される中、当日は天候に恵まれ多くの方々の出席のもと挙行された。第一部では、卒業証書の授与、「明浄直賞」など各賞の受賞者の発表ののち、在校生を代表してなおき会会長からの送辞が述べられ、卒業生代表の答辞で式場は感動に包まれた。

第二部では各クラスでの最後のホームルームが行われ、担任の先生からの贈る言葉や手作りのムービーに笑いあり、涙ありの温かい空気に包まれていた。また、生徒たちから担任の先生にも、感謝の気持ちや花束などのプレゼントを贈る場が設けられた。3年間の高校生活最後を思い思いに過ごしていた。

1年生今年も瑞雲寺



住職から話を聞く生徒たち

4月11日に新入生422名がオリエンテーションの一環で、向上高校発祥の地である曾我の瑞雲寺を訪問しました。

発祥の地であることを示す石碑の説明を先生方から聞いた後、本堂前で住職の大井道範氏や本校の前身校である湘北高校卒業の小川敏夫さんから当時のお話を聞きました。

スポーツフェスティバル ブロック対抗の応援合戦で一致団結

6月19日(木)・20日(金)の2日間、小田原アリーナにてスポーツフェスティバルが開催された。

1日目は、13時から体育委員、スポーツフェスティバル実行委員を中心とした準備のもと、開会式が行われた。



帽子を取り合い白熱した騎馬戦

昨年度に続いて今年度もブロック対抗の応援合戦が行われた。野球やサッカーチームの応援歌をアレンジした替え歌に加えて、TikTokで流行した楽曲も応援歌に取り入れられ、幅広い選曲が特徴となった。また、各ブロック団長の選手宣誓も行われ、アリーナ全体に若さ溢れる元気いっばいの声が響き渡った。



ブロック対抗で行われた応援合戦

2日目は、約900名の保護者に見守られながら、学年別種目のムカデリレー・背渡り競争・ハリケーン、クラス対抗騎馬戦など様々な競技が始まった。どの競技もクラスで声を掛け合い、各ブロックからも応援の声がアリーナに響いた。

2024年度 進路状況

四大進学者が80.6% ~努力の結果が進路に~

2024年度の進路状況は、現役生では80.6%が四年制大学、1.8%が短期大学、11.4%が専門学校、1.4%が就職でした。卒業生も含めた主な四大進学先は次の通り。

向上高等学校 合格結果

国公立大学	合格数		計
	現役	既卒	
秋田大学	1		1
茨城大学	1		1
愛媛大学		1	1
埼玉大学	1		1
静岡大学	1		1
千葉大学	1		1
山形大学	1		1
山口大学		1	1
横浜国立大学	1		1
神奈川県立保健福祉大学	2		2
釧路公立大学	1		1
諏訪東京理科大学	2		2
東京都立大学	1		1
防衛大学校	1		1
現役・既卒別合格数	14	2	16

早慶上智理科ICU	合格数		計
	現役	既卒	
慶應義塾大学	2		2
早稲田大学	2		2
上智大学			0
東京理科大学	3	1	4
国際基督教大学			0
現役・既卒別合格数	7	1	8

GMARCH関関同立	合格数		計
	現役	既卒	
青山学院大学	22		22
学習院大学	2		2
中央大学	15		15
法政大学	23	1	24
明治大学	8	1	9
立教大学	8		8
関西大学			0
関西学院大学			0
同志社大学			0
立命館大学			0
現役・既卒別合格数	78	2	80

KSMSM	合格数		計
	現役	既卒	
國學院大学	18		18
成蹊大学	3	1	4
成城大学	9		9
武蔵大学	3		3
明治学院大学	8		8
現役・既卒別合格数	41	1	42

日東駒専	合格数		計
	現役	既卒	
駒澤大学	10		10
専修大学	41		41
東洋大学	10	1	11
日本大学	45	3	48
現役・既卒別合格数	106	4	110

首都圏理系10大学	合格数		計
	現役	既卒	
工学院大学	14	2	16
芝浦工業大学	2	2	4
東京電機大学	7	1	8
東京都市大学	26	1	27
麻布大学	6		6
神奈川工科大学	30		30
北里大学	6		6
千葉工業大学			0
東京工科大学	21		21
東京農業大学	8		8
現役・既卒別合格数	120	6	126

私立大学	合格数		計
	現役	既卒	
亜細亜大学	5		5
追手門学院大学	1		1
桜美林大学	17		17
大妻女子大学	1		1
嘉悦大学	1		1
神奈川大学	28	1	29
神奈川歯科大学	1		1
鎌倉女子大学	1		1
神田外語大学	1		1
関東学院大学	15		15
共立女子大学	3		3
杏林大学	3		3
近畿大学	1		1
国際医療福祉大学	8		8
国際武道大学	1		1
国士舘大学	4		4
駒沢女子大学	6		6
相模女子大学	4		4
産業能率大学	13		13
実践女子大学	1		1
順天堂大学	1		1
湘南医療大学	2		2
湘南工科大学	1		1
昭和大学	1		1
昭和医科大学	1		1
昭和音楽大学	1		1
昭和女子大学	2		2
清泉女子大学	1		1
清和大学	2		2
洗足学園音楽大学	3		3
創価大学	9		9
大正大学	2		2
大東文化大学	1		1
拓殖大学	1		1
多摩大学	2		2
玉川大学	13		13

私立大学	合格数		計
	現役	既卒	
帝京大学	35		35
帝京科学大学	2		2
帝京平成大学	4		4
桐蔭横浜大学	4		4
東海大学	73	3	76
東京家政大学	1		1
東京経済大学	4		4
東京工芸大学	1	1	2
東京情報デザイン専門職大学	1		1
東京女子大学	2		2
東京女子医科大学	1		1
東京福祉大学	2		2
東京未来大学	1		1
東邦大学	2		2
東洋英和女学院大学	3		3
東洋学園大学	1		1
日本医療科学大学	1		1
日本女子体育大学	1		1
日本赤十字看護大学	1		1
日本体育大学	3		3
日本文化大学	1		1
フェリス学院大	1		1
文化学園大学	1		1
文教大学	1		1
武蔵野大学	1		1
明星大学	10	1	11
桃山学院教育大学	1		1
ヤマザキ動物看護大学	3		3
山梨学院大学	1		1
横浜商科大学	2		2
横浜創英大学	3		3
横浜薬科大学	7		7
立正大学	2		2
立命館アジア大学	3		3
和光大学	3		3
現役・既卒別合格数	341	6	347

「こゆるぎ会」ホームページのご案内 <http://koyurugikai.com>

情報発信



- ・2015年8月に、「こゆるぎ会」のホームページ(<http://koyurugikai.com>)がオープンして以来、多くの会員にアクセスしていただいております。
- ・ホームページでは、学校や同窓会などの情報をタイムリーに見出し、会員のコミュニケーションを促進しています。
- ・学校行事、ニュース、こゆるぎ会の活動、イベントのご案内、会員の議事録などを随時更新しています。

コミュニケーション



- ・各卒業年度の同窓会やクラブ活動OB/OGの集まりなど、会員相互の場のご案内をしています。同窓会の開催を予定されている場合は、ホームページの「問い合わせ」からご一報ください。
- ・こゆるぎ祭、チャリティーコンサートなど、卒業生も集うイベント情報を発信しています。

名簿データベース



- ・卒業生の名簿の管理については、インターネットを利用した「名簿データベース」を用意しています。会員ご自身の管理による、住所などの確認・登録・変更、情報の見逃し・漏れについての公開範囲などの設定が可能です。
- ・利用に際しては、トップページ右上にある「名簿データベース」の赤いボタンから進み、登録内容の確認をしてください。ログインID・パスワードのお問い合わせなどは、名簿データベースの運用担当(koyurugikai@web-dousosokai.com)へご相談ください。

同窓生紹介 昭和57年度卒 井出貴史さん

「明・浄・直」の教えが つないだ仕事



今回の同窓生紹介は、昭和57年度に本校を卒業した井出貴史さん。寒川神社参集殿では業務部長として、神前結婚式や七五三などで訪れた人たちへ忘れられない特別な時間を提供するために日々の業務に尽力している。

Q 向上高校に入学したきっかけは？

A スクールバスが寒川を経由している、通学が便利だったことが一番の理由です。

また当時は、嶋大輔さんや『ビー・バップ・ハイスクール』の影響でリーゼントにする学生が多かったのですが、私はそうした髪型が好きではなく、校則の厳しい学校を探していました。さらに、校訓の「明・浄・直」という理念が自分に合っていると感じ、向上高校を選びました。

Q 在学時の印象に残っている思い出は？

A 幼いころから、地元のボーイスカウト活動や神輿を担ぐなど、地域に根ざした活動に親しんできました。今では考えられないこともかもしれません、7月15日の浜降祭は平日開催で授

業のある日でしたので、担任の橋本先生に相談したところ、快く参加を許可していただいたことが心に残っています。先生のご理解に感謝しています。

Q 卒業後の進路について教えてください。

A 遠い先祖が神職をしていたことや、神輿を担いできた経験もあって、次第に神道の世界に興味を持つようになりました。自分でも調べるうちに、その道を志す気持ちも固まり、國學院大學に進学し神道の礼儀作法や神道について学びました。

入学と同時に東京永田町鎮座の日枝神社で実習し、神職の資格も取得しました。実習では音を上げる同期もいましたが、向上高校での厳しい生活に比べれば、正直言って「屁でもない」と感



勤務している参集殿の外観



神前式を執り行う御神殿

じていました(笑)。大学卒業後は静岡の秋葉神社、三嶋大社に奉職し、平成3年から念願の寒川神社での勤務となりました。

ここ最近では年間およそ200万人の参拝者が訪れ、全国でもご祈祷数が最も多い神社です。他所の某神社の約10倍というご祈祷数に対応する日々は多忙ですが、とても誉でありです。現在は、各種宴会を担当する参集殿にて10年ほど勤務しています。

Q 仕事で特に印象に残っている出来事がありますか？

A いくつか印象に残っているものがあるのですが、1つ目は、寒川神社に入社して2〜3年経った頃。向上高校の新校舎が見附島に完成した際、その清祓(きよはらい)の儀式を担当させて

いただいたことです。本来ならば上席の経験豊富な先輩方が担当される場面でしたが、当時の上司から「卒業生なので井出君が奉仕すればよい」と言われ僭越ながらこの大役を果たした次第で、大変光栄な経験でした。

2つ目は、神道の家柄でもあった宮崎道世先生がご逝去された際に、体育館で行われた追悼式を奉仕し、その後の十年祭の神事も執り行わせていただいたことです。母校の恩師を偲ぶ大切な時間でした。

3つ目は、親しくしている方のご縁で、豊島岡墓地で執り行われた秩父宮妃殿下の式年祭に参列できたことです。非常に貴重な体験となりました。

編集後記

無事に会報を発行できたことを嬉しく思います。同窓生紹介の井出さんは、昨年のホームカミングデーに参加した縁で取材をさせていただきました。会として、このような出会いが生まれたことを嬉しく思います。今年度は新たに「向上高校22歳の集い」にも協力をするので新たな出会いがあることに期待をします。(佐藤)